



絆

きずな

平成26年11月
第46号
荒川区立南千住第二中学校
校長 齊藤 進

ナンちゃん・ニーくん



「鼠小僧の墓は小塚原回向院にある」 は正しいか、間違いか ～ 第3回南千住検定・マイスター誕生 ～

校長 齊藤 進

11月8日(土)に第3回南千住検定が行われました。一般受検者61名を含め全校生徒合計360名が受検しました。また、新たに英文の問題も作成し英語受検者8名が挑戦しました。

南千住検定は今年で3年目を迎えます。初年度を除き、生徒は年に2回、一般は年に1回実施しましたので、生徒の検定は5回目、一般は3回目となりました。

問題は1問1点で100問出題されました。70点～が3級、80点～が2級、90～97点が1級、98～100点が南千住マイスターと認定され、それぞれ認定証が授与されます。マイスターには認定証のほかに荒川区の七宝焼き職人、畠山弘氏作のマイスターバッジが授与(有料)されます。

検定結果および検定問題、模範解答は本校ホームページに掲載しています。平均点は、一般受検者が87.5点、生徒は59.4点でした。一般受検者はそれぞれ意気込みも高く、周到な準備で臨み何とマイスターが8名誕生しました。反面、8名が97点で惜しくもマイスターを逃す結果となりました。来年はぜひ、マイスターに挑戦してください。また、近隣の小学5年生が果敢にも挑戦し、昨年の3級に続き2級を取得する快挙を達成しました。親子で競い合う風景や真剣な表情で取り組む光景が随所に見られました。

さて、ここで一般受検者よりも生徒の正答率が高かった問題と、全体で最も正答率の低かった問題を掲載しますので読者の皆様も挑戦してください。



(生徒の方が正答率の高かった問題) 実際の問題番号が表示されています。

(前文略) 次の説明文が正しいければ を、間違いであれば をぬりつぶしなさい。

5 鼠小僧の墓は小塚原回向院にある。

正しい 間違い (生徒正答率94% 一般89%)

7 松尾芭蕉が詠んだ「行く春や鳥啼き()の目は泪」の()に入る語句は魚である。

正しい 間違い (生徒正答率95% 一般94%)

(全体で最も正答率が低かった問題、一般正答率40% 生徒30%)

(前文略) 説明として正しいものを ~ から1つ選び、その番号をぬりつぶしなさい。

97 南千住地区について

昭和40年代に大和毛織など大規模工場が撤退した。

平成に入り、汐入地区は防災を目的とした再開発の対象地となった。

明治維新以降、中小企業を中心に工業地帯として発展した。

(答えは最終ページに掲載)

第26回 霜月祭

10月25日(土)、南千住二中の文化祭である霜月祭が行われました。午前中は第1部舞台発表、午後は第2部合唱コンクールと第3部吹奏楽部の

演奏が行われました。また、1階ホール、2階ホールには展示作品も置かれ、大変な盛り上がりを見せました。

《舞台発表》開会式では、実行委員長のあいさつにつづき、生徒会本部からスローガン「笑顔さくれつ!友とつながる!～Fantastic Festival 2014～」が発表されました。

舞台発表では、朗読部が美しいスライドとともに感情がこもった朗読「おばけ煙突のうた」を発表。次にレスキュー部・JRCの活動報告、そして1年生の地域学習劇の発表とつづきました。1年生



朗読部

の劇は地域学習をもとにしたもので、素盞雄神社の神が登場しました。何とこの神は今年卒業した先輩から受け継ぐという場面からスタートしました。1年生らしいかわいらしさのある劇でした。次の国語の意見発表では、各学年の代表が熱弁を奮いました。休憩をはさんで、2年生の劇「みゆちゃんとタートルズ」。こちらも地域の妖怪を題材とした創作劇で、主人公みゆちゃんの飼っている亀が実は千住大橋の大亀で、大洪水から南千住を救うという内容でした。劇のクライマックスでは先日完成した大亀の御輿が登場し、会場の度肝を抜きました。また、フィナーレは昨年に引き続き学年全員によるダンスを披露しました。すっかりこの学年のカラーになりました。つづいては、英語スピーチでした。意見発表と同じく、各学年の代表が発表しました。そして、3年生の地域学習劇。今年もナビゲーター役の“カッパ”と“みのわらじ”、そしてお馴染みのキャラクターが登場しました。内容は南千住に関わりの深い人物に焦点を当て、江戸中期から幕末にかけての歴史や文学の学習を進めるという、地域学習のねらいにあったものでした。少し難しい部分もありましたが、楽しい場面も多く、会場を大いに沸かせました。



1年生 地域学習劇



2年生劇 クライマックスでは大亀登場



午前中の最後は、毎年恒例になった天王太鼓の演奏でした。地域の天王太鼓つくも会の皆さんの協力を得



天王太鼓

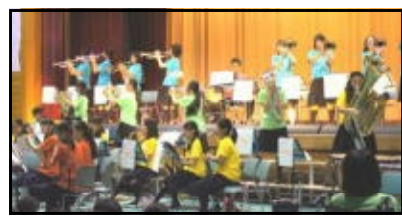
て、つくも会に所属する南千住二中1年生4名、2年生2名、3年生2名の計8名や卒業生が中心になり、今年も力強い演奏を聴かせてくれました。



3年生劇 解体新書の1シーン

吹奏楽の演奏

午後の合唱コンクールの後には、吹奏楽部の発表が行われました。夏のコンクールで銀賞を受賞した曲「微笑みの国セレクションから」の演奏から開始しました。その後、ディズニーマドレー、ポップスナンバー、人気グループ「嵐」の曲などを次々に演奏してくれ、霜月祭のフィナーレを飾るにふさわしく、大いに盛り上がりました。



《合唱コンクール》昼食をはさんで、午後は合唱コンクールが行われました。各クラスが課題曲と自由曲を発表しました。1年生の課題曲は「夢の世界を」、2年生は「時の旅人」、3年生は「春に」でした。音楽の授業はもとより、どのクラスも朝や放課後にも練習に取り組んできた成果を発表しました。それぞれの学年にふさわしい合唱でした。



閉会式で各学年の最優秀(優勝)クラスが発表されました。1年生は1組、2年生も1組、3年生は2組でした。発表の瞬間は大きな歓声があがりました。優勝できなかったクラスからは落胆のため息が漏れ、涙ぐむ姿も見られましたが、互いを讃え合う姿が印象的でした。どのクラスも甲乙つけがたい発表でした。

《展示》霜月祭でもう一つ忘れてはならないものが展示作品

です。各学年の美術、技術家庭科の作品、社会科の国調べなど教科の発表、1,2年生の移動教室、3年生修学旅行に関連するもの、各学年の地域学習などが所狭しと展示されました。その中でも、1年生の清里移動教室で拾った石に描いた「ストーンアート」、2年生の美術作品「輝く自分」、



ストーンアート



漆器の加飾

3年生が修学旅行で体験学習として行った「漆器の加飾」などが目を引きました。南千住二中の霜月祭も年々その内容が濃くなり、見応えのあるものになってきました。生徒会本部や実行委員会、そして裏方(照明・音響・衣装・大道具等々)も含め生徒が生き生きと活動する霜月祭でした。

千住大橋の大亀完成

前号で紹介した千住大橋の大亀が完成しました。昨年度の大鯰と同じく、二

天棒の御輿の形になりました。10月22日(水)には、目を入れる点睛のイベントも行いました。千住大橋まで御輿を担ぎ出す予定でしたが、あいにくこの日は雨。隅田川から水だけくんできて学校で行いました。この模様はNHKの取材を受けました。タレントのユー



ジさんも来校し、一緒に御輿を担ぎました。霜月祭で登場するシーンも含め、NHK - BSプレミアム「ニッポンがり鉄道旅」の中で11/6,8の2回放映されました。



ユージさんも飛び入りで

第三回 南千住検定

11月8日(土)には、三回目になる南千住検定が行われました。当日は一般の受検者61名を加え、全校生徒と合わせ360人が受検しました。一般受検者と全校生徒がアリーナに一堂に会して受検する光景は荘厳なものがありました。



10月18日(土)に行われた「南千住検定講座」からもたくさん出題されましたが、これまで出題された内容が形を変えて出題されたり、新たな問題も多く加わり、かなりの難易度でした(巻頭でも紹介)。採点の結果、生徒は残念ながら新たなマイスター(98点以上)は誕生しませんでした。各学年から1人ずつ計3名の1級取得者(90点以上)が出ました。2級(80点以上)は1年生2名、2年生8名、3年生8名、3級(70点以上)は1年生17名、2年生17名、3年生13名という、なかなかの結果でした。中でも今回は2年生の級取得者が多く、平均点も60.9点と3学年で最も高い点数でした。先日南千住二中が開発したタブレットPC版「南千住検定過去問題」を試験的に活用したことがその一つの要因と考えられます。今後、各学年でも活用予定です。



しかし、驚かされたのは一般受検者のレベルの高さでした。全受検者61名のうち、何と8名のマイスターが誕生しました。満点も2名出ました。さらに1級は30名、2級14名、3級4名、平均点も87.5点と驚異的な数字です。また今回は、初めて英語での受検も実施し、8名(内1名は生徒)が英語で受検しました。

南千住を愛し、歴史を語ることに、この南千住検定が一役買っていると自負しています。来年度も実施予定です。是非受検してください。詳しくは本校ホームページをご覧ください。

全校総合

10月28日(火)1校時には、全校での「総合的な学習の時間」を行いました。授業を担当したのは齊藤校長先生で、身近なことに興味をもとうというテーマでお話をしてくれました。光触媒を発明した科学者の話や、命についてのお話、前号でも投げかけた「なぜサンマの背は青く、腹は白いのか。」など、楽しく、ためになる内容で、全校生徒が校長先生のお話に聞き入っていました。あっという間の1時間でした。



《なぜサンマの背は青く、腹は白いのか》

サンマなどの青魚は、空からは鳥に、水中からは大きな魚などに狙われます。背が青いのは空から見たときに、背の青が海の青に同化し、水中から見ると、空の光に腹が白く同化し見えづらくなります。命を守るために進化したのだと考えられます。



青魚の模型 作:美術科 宗広先生

地域ボランティア

前号でも紹介した「南千住地区なかよし祭」、「荒川区消防団点検」に南千住二中学生がボランティアとして参加しました。どちらのイベントも10月19日(日)に行われ、レスキュー部が中心となり参加しました。

「南千住地区なかよし祭」は荒川スポーツセンターで毎年行われているもので、小学生以下の子どもたちを対象にした楽しい地域イベントです。南千住二中のボランティアは会場の準備などのお手伝いや“ウォーリーを探せ”のブースを担当したりしました。小さい子どもたちも大喜びでした。

「荒川区消防団点検」は、東京消防庁と荒川区の消防団が合同で行う消防隊の訓練で、中学校では唯一、南千住二中レスキュー部に参加の要請がありました。レスキュー部の活動が社会的にも認知され、地域防災への貢献が期待されています。訓練では大きなポンプを使っての放水訓練、災害現場からの傷病者搬送訓練などを行いました。南千住二中レスキュー部は意識も高く、中学生としては立派なはたらきをし、主催された方々からも褒めの言葉をいただきました。ボランティアとして参加した皆さん、お疲れさまでした。

【ボランティア参加者】

「南千住地区なかよし祭」
2年1組女子2名、2年2組女子4名、2年3組男子3名、女子5名、1年2組男子2名
計16名

「荒川区消防団点検」
3年1組男子3名、3年2組男子2名、2年2組女子1名、
1年1組女子1名、1年2組女子2名、1年3組女子1名
計10名

連合生徒発表会

11月7日(金)、荒川区立中学校連合生徒発表会がサンパル荒川で行われました。午前中には、英語スピーチが行われ、南千住二中からは各学年の代表として、1年生は男子1名、2年生、3年生はそれぞれ女子1名の計3人が出場しました。3人とも素晴らしい内容のスピーチで、1年生代表の男子は1年生の部で2位に入賞しました。

午後からは音楽の部が行われ、吹奏楽部と、3年生の全員合唱が出場しました。音楽の部は順位はありませんが、吹奏楽部は都コンクール銀賞の実力をそれ以上に発揮し、3年生も心を合わせた感動的な合唱を発表しました。

この連合発表会は今年で最後になります。その最後の閉会のあいさつを南千住二中学生会本部役員の3年生女子が区内全中学校を代表して述べました。これまでこのような機会を与えてくださった方々に感謝の意を伝える、心のこもったあいさつでした。

「なかよしまつり」アラ坊と



「消防団点検」放水訓練



3年生学年合唱



部活動等の活躍

前号でお知らせした『明るい選挙ポスターコンクール』佳作につき、文化面で南千住二中学生が多数表彰されています。

中学生の『税の作文』 **荒川税務署長賞** 3年3組女子 **奨励賞** 3年3組女子

中学生の『税の標語』 **荒川関税会優秀賞** 2年3組女子

「社会を明るくする運動」作文コンテスト **東京都中学校長会長賞** 2年2組男子

東京都「未成年者喫煙防止ポスター」中学生の部 **最優秀賞** 2年1組男子

荒川区『エコ標語』コンクール **最優秀賞** 2年1組男子

優秀賞 2年1組男子 **佳作** 2年1組男子

荒川区立中学校連合生徒発表会「英語スピーチ」 **第2位** 1年2組男子

《陸上競技部》荒川区民大会 中学生の部

共通女子100m走 **第1位**、共通女子走り幅跳び **第2位** 3年2組女子

共通女子800m走 **第3位** 3年3組女子

荒川区MBA表彰 地域防災活動に貢献したとして先生方も表彰を受けました。

齊藤校長先生、**松田**副校長先生、**笹川**先生、**澤田**先生

南千住マイスターのコーナー

円通寺境内には『彰義隊士の墓』と『黒門』があります。これらは幕末明治維新の戊辰(ぼしん)戦争と深い関わりがあります。

幕末、薩長連合が幕府を倒し、江戸時代が終焉を迎えたのは、誰もが知っている史実です。時の徳川將軍慶喜は江戸城無血開城に応じ、事実上江戸幕府は解体されました。しかし、一部の幕臣はその後も明治新政府軍に屈せず、戦い抜いてきました。その中の一隊が彰義隊です。

もともと彰義隊は將軍護衛のための結成されました。江戸城無血開城後、將軍徳川慶喜は十住大橋を渡り江戸を去り、水戸に隠居しました。すると新政府軍 西郷隆盛は彰義隊に江戸市中の治安維持を命じます。しかし、隊士たちは新政府軍への反発があり、治安維持だけでなく新政府軍と対峙し、最後まで戦い抜こうとする者がほとんどでした。新政府は、彰義隊の殲滅を指示します。上野寛永寺に立てこもる彰義隊は、新政府軍の攻撃が始まります。慶応四年(一八六八)五月十五日、雨の日のことでした。彰義隊の主な武器は、雨に濡れば火が消えてしまふ火縄銃。それに対して新政府軍は、外国から手に入れたライム石トング砲などの最新兵器。彰義隊千人に対して新政府軍は千方以上。彰義隊がなすつげがありません。たった1日で勝負は決まりました。これが上野戦争です。

彰義隊の戦死者は200人を越えたといわれ、新政府に逆らった者として上野の山に放置されたままです。しかし、これを見かねた二人輪田通寺の佛磨和尚が政府の許可を受け、上野の山で荼毘に付し、円通寺に埋葬しました。円通寺境内には後藤鉄次郎追悼碑、五月十五日、上野山王台で戦死などの銘のある墓石が並んでいます。無名の人も多く、彰義隊士の墓として葬られています。このことが縁で、後年寛永寺の東門だった『黒門』が円通寺に移築されました。黒門に戦闘の凄まじさを語る多くの銃弾の跡が残されています。

生き延びた彰義隊士は、その後新政府に敵対する他部隊と合流するが、箱根会津、函館などで戦闘を繰り返します。しかし結果は新政府軍の圧勝でした。これらの戦闘を含め、戊辰戦争といえます。その戦死者なども円通寺に埋葬されています。

南千住と歴史上の人物 その7 『彰義隊』と円通寺の黒門



円通寺 黒門と彰義隊士の墓

【南千住検定の答】 5 正しい(両国回向院にもありますが、もともとは小塚原回向院) 7 正しい(おくのほそ道 矢立はじめの句) 9 7 南千住地区について 昭和40年代に大和毛織など大規模工場が撤退した。(明治維新以降は、発電・製紙・紡績など、大規模工業地帯として発展した。汐入地区が防災を目的とした再開発の対象地となったのは昭和。)